

神白川水門工事が完成！！

福島県初の津波高潮対策水門として整備を進めてきた県施工4水門のうち、神白川（いわき市小名浜下神白地内）において、県内2番目となる「神白川水門」が完成しました。

神白川水門は、津波・高潮から地域の安全・安心を確保することを目的に平成26年8月より着手、平成27年11月より本体コンクリートの打設を開始し、ゲート工事や通信工事を経て、平成29年12月に完成しました。

完成間近の12月7日、水門に隣接する県立いわき海星高校において、生徒約60名と、地元住民約30名を対象に現場見学会を開催しました。

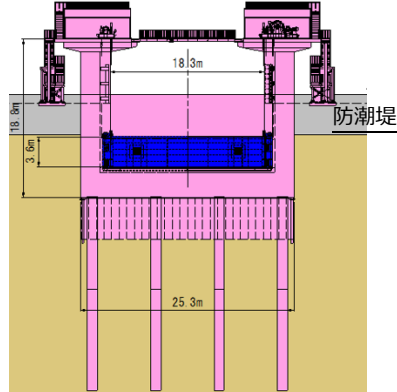
見学会では、水門の試運転や施設内を見学してもらい、水門への理解を深め、防災意識の向上を図りました。

今後、神白川水門が、小名浜下神白区のシンボルとなり、将来にわたり地域に根ざした防災施設となるよう期待しております。

【位置図】



【正面図】



【水門試運転の見学状況】



【見学会集合写真】



【操作室内部の見学状況】

